



農工通信



第 69 号



改装なった工学部4号館。昨年から進められていた改修が完成しました。多目的に使用できるオープンラボ(多目的実験室)の設置など教育・研究環境が大きく改善されました。また、正面入り口には池が作られるなど外観も一新されました。

も く じ

○あいさつ	○慶事	23
同窓会理事長に就任して	○今春本学を退官された教官	23
2	○創立50周年記念会館竣工	24
○学園だより	○平成13年度版同窓会会員名簿について	24
平成13年度卒業式・修了式祝辞	○農工大ティー・エル・オー(株)の活動報告	25
3	○(財)東京農工大学後援会の活動	26
平成14年度入学式祝辞	○同窓会支部長及び支部連絡先	27
4	○平成14年5月1日現在の同窓会会員数	28
○第39回通常総会開催さる	○事務局だより	28
新たな同窓会役員体制発足	○編集後記	28
8		
○新たに迎えた正会員		
9		
○部会・支部だより		
16		
○クラス会だより		
20		

あ い さ つ

理事長に就任して——明日の同窓会に向けて

理事長 小原嘉明(農S39)



東京農工大学同窓会は会員相互の親睦をはかると同時に、母校の教育と研究を側面から支援し、母校の発展に寄与することを目標に掲げ、地道ながらも着実な活動を積み重ね、今日に至っています。これは歴代の会長、理事長や会員の皆さんなど、多くの方々のご尽力のたまものであって、同窓会関係者として喜ばしい限りです。しかしその一方で、過去10余年に及ぶ大学改組の波とそれに伴う同窓会組織の再編では、会員の皆様に多大なご迷惑をおかけしています。また近年の低金利によって本会の財政が窮屈になり、同窓会の活動が圧迫を受けているのも頭の痛い問題です。

このような情勢下にある理事長就任は、私の身に余る大任で、身が引き締まる思いで一杯です。しかし幸いなことに、西尾会長をはじめ、新たに理事に就任された方々はみな知恵豊かで、同窓会に対して熱意を寄せております。5月の総会では理事会の機能アップを目指した理事の役割分担案を承認されました。事務局からも、相変わらぬ献身的な協力をいただいております。これらの方々、会員みなさまのお力添えで本会の発展に微力ながら努める所存です。

先の総会で西尾会長は、同窓会の主要目的である会員相互の親睦が、さらに深まることに期待を表明されました。理事会もこれに沿って努力して行きたいと考えています。具体的には支部と部会の活性化ですが、これについては各支部及び部会のみなさまの積極的なご協力を期待致します。例えば支部総会を開いた経験のない支部にあっては、少人数の集会でも結構ですので、支部総会の開催を試行されんことを望みます。そのためには、理事や講演会の講師の派遣など、支援は惜しみま

せん。遠慮なくご相談下さい。

西尾会長は総会でもうひとつ、本会が母校の発展のために、さらに何か貢献できることがないか、との期待を述べられました。母校の発展はもとより本同窓会の願いでもあるので、この点についても会員のみなさまのご協力が得られれば幸いです。例えば学生の就職活動の支援です。各界でご活躍のみなさまに、学生の就職活動についてご相談にのっていただければ、大学にとっては大変大きな支援になります。

また東京農工大学は、みなさまのご活躍のおかげで、専門家や業界では十分にその実力が認知されているのですが、社会的知名度の点では悔しい思いをすることがたびたびあります。これは基本的には大学に籍を置く我々の責任ですが、この点についても、同窓会にできることがあれば積極的に尽力したいと考えています。その一例として支部総会での準公開のミニ講演会なども考えられます。これまでに、宮城県や千葉県支部などいくつかの支部では、支部総会時に支部会員向けに30～40分程度の講演会を行った経験があります。これを少し拡大し、「東京農工大学同窓会〇〇支部主催」の講演会として地域の高校生(あるいはできれば住民)に公開で行うのも一案かと思えます。東京農工大学を知っていただくいい機会だと思うのですが、いかがでしょうか。その際、聴衆が少なくても講師にすまない、というお気遣いは無用です。大学の先生は2、3人の学生を相手にした講義にもめげない抵抗性を持っています。最悪、支部会員だけでも全くかまいません。どうか気軽に試行されんことを期待します。

西尾会長はまた別の席で、同窓会の活性は常務理事会の活動いかにかかっている、と同理事会の活発な活動にも期待を寄せています。理事一同、そのお言葉を胸に励みたいと思っています。よろしくお願い致します。

学 園 だ よ り

平成13年度東京農工大学卒業式・修了式祝辞

東京農工大学同窓会会長 西 尾 邑 次 (農S17)

東京農工大学を卒業あるいは修了される皆様おめでとうございます。

心からお慶び申し上げます。そして希望に満ちた若い皆様を我が農工大学同窓会会員としてお迎えできることを慶びとするものであります。

考えてみますと、皆様が小学校に入学されてから今日迄16年ないし19年間に亘っての学業生活は誠に長い道のりでありました。

人生の一つの節目を迎え感慨深いものがあると存じます。

今日までご子弟の養育に当ってこられましたご父兄の皆様、そして本大学で教育に専念してこられました学長を始め教育関係者の皆様も安堵の気持ちでいっぱいだろうと存じます。御苦勞さまでした。

さて卒業あるいは修了される皆様は、誇り得る歴史と輝かしい伝統を有し、そして優れた教授陣を擁する本大学で、常に目的意識を持ちながら勉学に精励し、人格の陶冶に励み、ここにめでたく学位卒業証書あるいは修了証書を手にされたのであります。

私が申し上げるまでもなく「卒業」と云う日本語は「英語」特にアメリカでは「開始すること」と同じ意味の「コメンメント」と云う単語が使われております。

言い換れば、卒業とはこれからの人生が始まると云う意味を持つものであることを認識しなければなりません。

皆様の本大学での入学式の際学長告示の中に



「皆様が卒業して活躍する社会は、グローバル化の中で競争社会化が強化される二十一世紀であり、組織に安住することは許されなくなると思っています。そこで求められるのは、自分で考え主体的に行動できる人材です。」と述べておられます。

正にその時がやってまいりました。

グローバル化が日本の農業にも様々な影響を与えております。工業製品についても画期的な製品が求められ、消費者の好みもめまぐるしく変化する時代でもあります。そして世界を通して環境問題が重視されております。

我が国の政治・経済・社会の情勢そして国際問題など大変憂慮すべき課題も多々あります。

このような状況の中に皆様は飛びこんでいくわけです。苦難と変化の激しい道かと存じます。

幸い皆様は、今の社会あるいは地球上で最も求められている科学技術、即ち「美しい環境と大切な生命を育むための自然と調和した科学技術」「人間の心や豊かさを大切にしたい最先端科学技術」等の教育と研究を学び、しかも研究分野では全国の大学の中でトップ級の評価を得ている東京農工大学で学んできたわけです。

このことに皆様は大きな喜びと誇りを感じ、確固たる自信を持ってこれから社会責任と倫理性に基く行動のできる人材であることを自覚していただきたいと思います。

私は、それを信じ皆様の将来に大きな夢と希望を託し、ご健勝で活躍されることをお祈りし、お祝いの辞といたします。

平成14年度東京農工大学入学式祝辞

東京農工大学同窓会副会長 小 川 益 男 (獣医S33)

皆さん、ご入学おめでとうございます。同窓会を代表して、皆さんが東京農工大学の学部あるいは大学院へご入学されましたことを、心からお喜びするとともに歓迎いたします。

本学は、その前身から数えると、120年余りの長い歴史と伝統を有しながらも、常に新しい社会のニーズを鋭敏に捉え、教育・研究組織を改組・充実して有為の人材を社会に送って参りました。同窓生は現在、約3万5000人を数え、官公庁や産業界で中核的な技術者として、あるいは指導的な立場で、多くの方が活躍しております。卒業生が社会で活躍し評価されることが、大学の評価を高め、優れた学生の入学を促し、また、大学が教育研究の充実を通じて発展し、有能な人材を育てることが、卒業生の評価を高めます。このように、大学の発展と卒業生の活躍は車の両輪のごとく密接な関係にあります。昨年、河合塾が全国の国公私立大学を各種のデータに基づき総合的に評価した結果によりますと、本学はわずか2学部しかないにもかかわらず、ベスト30の中に数えられています。このような本学の高い評価や伝統は、教職員の努力を基盤としながらも、学生や卒業生の協力がなくては築かれるものではありません。どうか皆さん、東京農工大学の学生であることにプライドを持って、有意義な学生生活を送っていただきたいと思います。

人類は、科学技術を駆使して豊かな物質文明を築きましたが、その一方で、深刻な環境問題に直面しております。21世紀最大の課題は、多様な自然環境の保全と人間の生産活動の持続という、相互に背反関係にある2つの要素を、有機的に結びつけ共生を図り得るシステムを構築することにあると思います。昨年、わが国を震撼させた牛海綿状脳症問題も、食品の生産(振興)と安全(規制)という、背反する2つの要素を、目的を共有するシステムに統合し調整し得る総合的な思考と学術が欠如していたことに原因があります。これらはまた、科学技術だけではなく、関係者の価値観や倫理観の問題でもあり、従来の発想方式を転換しない限り解決への突破口は開けないと思います。私は本学獣医学科を昭和33年に卒業し、以来食品

の安全問題に係ってきましたが、その体験から、21世紀を担う皆さんには、システム全体を俯瞰し得る総合的思考と共にシステムの中で自分の役割を知り、それを果たし得る専門的な知性・個性・倫理観を養っていただきたいと思います。

皆さんは、本学への入学を機に、クラスメート、クラブやゼミの仲間、先輩、先生など、これまでとは質的・量的に異なる新しい出会いや体験をたくさん持てると思います。特に考え方や経験の異なる人との出会いは、それを大切にすることによって、新しい世界や自分の位置を知ることができるばかりでなく、異なる立場への理解を深め、調和や行動の仕方を真剣に考え、豊かな社会性や人間性を育てるよい機会となるはずで。魅力を感じず人と出会えたら、積極的に何かを投げかけてみる、投げ返してくれたら真摯に受け止める。相互に個性を尊重しながらこのような関係を深めることが自分を育て、かけがえのない生涯の友や恩師に恵まれる機会を高めてくれると思います。

感性と行動力に富んだ学生時代にはまた、科学する心を大切に養っていただきたい。知識の吸収は極めて大切なことですが、それは手段であって目的ではないと思います。その知識を使って自ら疑問や問題を解き、そこから、新しい情報や法則性を見出してゆく独創力はもっと大切です。

以上、本日の入学式に際し、少なくとも21世紀の前半を担っていただくことになる皆さんへの期待の一端を申し述べ祝辞と致します。



東京農工大学同窓会第39回通常総会開催さる

日時：平成14年5月25日（土）13：30～15：30

場所：東京農工大学工学部講義棟20号教室

出席者：理事及び代議員 計178名（うち委任状82名）

第39回通常総会は、5月25日、さわやかに晴れ上がった五月晴れの母校工学部キャンパスに、多数の同窓生代表が参集し、盛大に開催された。

まず、澤田総務局長から、出席者が定足数を超え、会議が成立している旨報告があり、坂野理事長の開会の辞によって通常総会本会議にはいった。

会議に先立ち、西尾会長から、「同窓会活動は支部活動及び部会活動が基本となるわけであり、その核となる同窓生各位の積極的な活動への参画が、母校・大学の社会的評価に繋がり、ひいては大学の優劣についての客観的判断にも繋がる結果となる。同窓生各位が一層友好を深め、互に意見を交換しあい、母校発展のために努めていきたい」との総会基調挨拶が行われた。

つづいて、来賓の母校宮田学長から、大学の最近の状況や独立法人化の課題について、①入試改良など教育関連課題の改善、②FDと略称する授業改善方法の推進、③工学部の教育研究関連施設有効面積の拡大、④COEと呼ばれる世界最高水準の科学技術研究教育機関としての「トップ30」入りの実現、⑤産官学共同研究の分野において旧帝大系に伍して上位を占めることなど大学の社会的評価の取得、独立法人化後の大学運営体制等について述べられ、これからの大学運営上は、大学と同窓生が一体となって力を出し合っていくという活動が必要となることなどが強調された。

また、松岡副学長からは、教務、厚生、学生関連等担当の立場から、特に学生の就職のための窓口を設けることの必要性、大学と同窓生との結びつきの強化策、同窓生・OBによる大学・学生に対する実践的就職指導支援をお願いしたい旨要請がなされた。

さらに、国見連農研究科長からは、現在、宇都宮、茨城各大学と3大学で共同運営にあたっているが、現在までに修了生435名を送り出してきており、また、論文博士は175名を送り出しているなど拡大の一途をたどってきている状況及び今後の拡大への期待について概説された。

引き続き、会則に則り、西尾会長が議長となり、議事録署名人2名（高橋幸資、亀山秀雄両理事）を選任、議事に入った。本年度は、同窓会役員（理事、監事）、代議員の改選期に当たることから、本会議を一時休憩、理事会を開催し、理事会推薦理事の決定の他、役員、代議員それぞれの選任案の紹介が行われた。理事会終了後引き続き本会議が再開され、理事長より理事会の報告が行われ、坂野好幸理事長の退任の報告、会則に従って小原嘉明新理事長の指名、それぞれの退任、新任の挨拶が行われた。

議事

1. 平成13年度事業実施報告、決算報告及び監査報告

高橋庶務部長により、資料1項に基づき、平成13年

度の事業11項目について項目別に報告が行われ、また、堀 経理副部長により、平成13年度決算報告〔別記1〕が行われ、何れも異議なく了承された。さらに、佐々木監事から、同年度の会計監査及び業務監査について、報告書・帳簿・伝票等の精査を実施した結果、何れも適正、正確に処理されており、また、事業・業務執行の妥当性について監査の結果、適正であると認められる旨報告された。

以上、平成13年度事業報告、決算報告、監査報告について何れも異議なく了承された。

2. 平成14年度事業計画予算案提案

高橋庶務部長より、平成14年度事業計画案〔別記2〕の12項目にわたり提案、また、これらの項目の中で重点8項目（本議事録第4項に記載）についての説明が行われた。本提案、説明に対し、何れも異議なく了承、可決された。

また、堀経理副部長から平成14年度事業予算案〔別記3〕について提案・説明が行われ、何れも提案どおり承認、可決された。

ここで本会議は一旦休憩し、理事会を開催し、坂野理事長から、今年度は、役員、代議員の改選時期にあたる旨説明があり、理事会推薦理事推薦の案件が提案され、異議なく了承された。また、部会推薦理事、監事、部会推薦代議員、支部推薦代議員、会長指名による理事長、常務理事各案の紹介案内があった。

3. 理事（部会推薦、理事会推薦）、監事、代議員（部会推薦、支部推薦）、理事長・常務理事（会長指名）等の選任

理事会において了承された理事会推薦理事のほか紹介された役員・監事・代議員等案に基づき、再会された本会議において提案、下記のとおり確認または承認された（（ ）内数字は人数）。

*理事長（1）、常務理事（18）〔別記4〕（会長指名による）、また、

*①部会推薦理事（81）、②理事会推薦理事（15）、③監事（3）、④部会推薦代議員（81）、⑤支部推薦代議員（71）（部会関係では一部未定部会がある）

4. 今後の主な同窓会事業内容（論議の一部を含む）

上記議事1、2および3に関連した主な論議事項について概括すれば次のとおりである。

4.1 平成14年度同窓会常務理事体制

同窓会業務遂行責任体制、業務分担の明確化（副理事長、担当部長制の導入による実業務実効を挙げる）

4.2 同窓会財務体質の健全化

- ・事業活動については、その質・量・時期の見直し（効果的、重点的支出）
- ・収入の拡大（5会費収入の増加策、会費の臨時徴収

または増額の可能性の検討)

4.3 平成13年度版会員名簿及び将来の名簿の形体

- (1)印刷部数18,000冊, 実支払額21,806千円, 配布済16,036冊(その後の会費納入会員宛には順次送付予定)
 (2)名簿の完成度: 従来の部会基準編集方法を大学学科基準編集方法に変更(学科の輻輳化のため)したことによる学科氏名配列変化などが原因のクレームなど, また, 印刷システム技術不備による印刷不良の発生がみられた
 (3)将来の会員名簿の発行形態, 印刷形態の再検討(学科増加, 会員増加, 情報開示・不開示, 名簿完成度の向上, 専門業者を含む外注化等の検討など)

4.4 部会・支部・職域活動の活性化

- (1)部会活動(登録部会数: 農学系10, 工学系9計19部会と活動状況)
 (2)支部総会開催の状況, 参加率の向上

4.5 創立50周年記念活動の終結, 記念会館今後の同館拡張

- (1)創立50周年記念事業後援会募金収支決算について
 総会会日の後, 6月8日に前募金会拡大役員会において, 前回予備費として取り扱われていた分をあわせ, 大学への最終寄附金額が次表のとおり報告された。すなわち, 募金収入金額総額46,494,393円(2,449件)(前回第38回総会時に比し15,336円利息増分あり, 全体は次表参照)
 (2)総額の内, 大学への寄附金額は, 44,291,849円(次表支出*印, 無印は一般経費)
 (3)記念会館第1期工事(仮称)完了 床面積125㎡(竣工14年3月)

収 入	
寄附金総額	46,435,500円
利息	58,893
合計	46,494,393円

支 出	
募金趣意書印刷	1,599,349円
50年史の出版	* 1,200,000
50周年記念会館設計費	* 2,100,000
50周年記念会館建築費	* 40,000,000
国際交流援助資金	* 800,000
記念会館調度品	* 191,849
礼状・報告書作成・郵送料	603,195
合計	46,494,393円

注. 通常総会直後の旧募金会役員会確定値として連絡を得た金額を整理し追記した。

第2期工事(仮称, 約100㎡), 具体化は大学独立法人化計画と関連, 工事計画の具体化時点で同窓会総会による寄附を計画予定(第31回総会以降各総会にて論議)。

4.6 八王子分収林について

- (1)八王子市との分収林造林契約の現況(契約解除期日17.3.31)。
 (2)毎木調査の実施結果について(3)八王子市との協議計画(4)分収林検討委員会の設置案。

4.7 ベイオフ「解禁」対応について

ベイオフ「解禁」に対する同窓会としての基本的考え方について下記事項について説明し了承を得た。

- (1)金融機関の選択基準, 基本金等分散管理実施
 (2)預け入れの形体について(定期預金減, 普通預金増, 郵便貯金増)
 (3)通常の同窓会出納業務等銀行による「サービス」業務の有無
 (4)同窓会としての具体的対応案(銀行別, 口座別に作表提示)

4.8 同窓会ホームページ(HP)の充実とその活用

- (1)情報の発信と受信, HPを通じての相互信頼感の醸成
 (2)情報の適時的な取捨選択と入出力業務の促進。(行の変更のみ)

5. その他

- (1)母校 大学再編・統合, 独立法人化の課題に関する現状について, 細溪東京支部長による質問に対し, 松岡副学長より, 「再編・統合の課題については, 現在までに, 農学系大学間での検討, 理工系大学間での検討などが実施されてきているが, なお引き続き検討課題である。こうした再編・統合の課題に先立ち, 独立法人化(独法化)の課題が先行するものとの見方が強い」との主旨で現況について説明された。
 (2)また, 細溪氏から将来の名簿編集に当たって最終履歴の記載の要望等があることが紹介された。しかし, 名簿に関しては, 4.3項に関連項目を示してあるが, 情報開示に関連する要請がある反面, 一方では, 情報不開示の強い要望も多数寄せられており, 将来の名簿編集作成上, 検討しておくべき課題の一つとされた。

【別記1】平成13年度決算

(平成13年4月1日～14年3月31日)

1. 基本金決算

(1) 収入 (単位: 円)

款 項 目	(A) 予算額	(B) 決算額	(A)-(B)		備 考
			増	減	
前年度繰越金	327,264,520	327,264,520		0	
終身会費	2,515,000	2,810,000	-295,000		98名(分納を含む)
賛助会費	9,045,000	20,040,000	-10,995,000		668名
合 計	338,824,520	350,114,520	-11,290,000		

(2) 支出 (単位: 円)

特別会計繰出	7,000,000	7,000,000		0	会員名簿発行
一般会計繰出	8,656,000	9,785,000	-1,129,000		終身/賛助会費の10%
	3,500,000	3,500,000		0	基本金より特別繰出3,500千円
合 計	19,156,000	20,285,000	-1,129,000		

(3) 残高 (単位: 円)

収入-支出	319,668,520	329,829,520	-10,161,000		
-------	-------------	-------------	-------------	--	--

2. 一般会計決算

(1) 収入 (単位: 円)

款 項 目	(A) 予算額	(B) 決算額	(A)-(B)		備 考
			増	減	
前年度繰越金	1,921,922	1,921,922		0	
入 会 金	2,997,000	4,060,000	-1,063,000		812名

年会費	2,692,000	2,141,200	550,800	1,424名
10年前納会費	1,110,000	780,000	330,000	52名
利子	2,125,000	2,608,271	-483,271	
基本金より繰入	12,130,000	13,285,000	-1,155,000	
その他	1,830,000	-213,594	2,043,594	
合計 D	24,805,922	24,582,799	223,123	

(2) 支出 (単位:円)

款 項 目	(A) 予 算 額	(B) 決 算 額	(A)-(B) 増 減	備 考
事業費	11,948,000	11,882,203	65,797	
内				
会員名簿発行準備費	0	0	0	
会員名簿作成費	1,345,000	1,420,457	-75,457	
会報発行費	7,590,000	8,011,471	-421,471	7, 12月
新入正会員歓迎費	855,000	855,000	0	卒業, 修了証書入れ
母校行事援助費	380,000	380,000	0	学園祭, スポーツ大会
分取林管理費	350,000	309,795	40,205	森林保険
資料整備費	550,000	0	550,000	
活動費	878,000	905,480	-27,480	
会議費	550,000	351,880	198,120	通常総会, 懇親会
事務費	9,881,000	9,620,000	261,000	
内				
手当	2,182,000	2,175,000	7,000	
雑給	2,833,000	2,798,462	34,538	
備品費	450,000	379,874	70,126	
消耗品費	870,000	965,509	-95,509	
通信費	550,000	581,619	-31,619	合格者, 父母, 連絡
旅費	2,100,000	2,103,920	-3,920	総会代議員, 支部総会
事務用品印刷費	200,000	74,700	125,300	
慶弔費	116,000	31,990	84,010	
借室・光熱水費	440,000	364,248	75,752	同窓会室
雑費	140,000	144,678	-4,678	
支部・部会還元金	1,092,000	820,275	271,725	
職員厚生積立金	100,000	100,000	0	
その他	180,000	140,340	39,660	
予備費	1,054,922	0	1,054,922	
支出合計 E	24,805,922	22,914,698	1,891,224	
次期繰越額 D-E	0	1,668,101	-1,668,101	

3. 特別会計決算

(平成13年4月1日~14年3月31日)

(1) 収入 (単位:円)

款 項 目	(A) 会員名簿発行資金	(B) 職員厚生資金	合 計
前年度繰越金	17,027,645	1,325,399	18,353,044
繰入金	7,000,000	100,000	7,100,000
利息	4,754	418	5,172
合計	24,032,399	1,425,817	25,458,216

(2) 支出 (単位:円)

款 項 目	会員名簿発行資金	職員厚生資金	合 計
支出合計	22,084,767	0	22,084,767

(3) 特別会計残高 (単位:円)

款 項 目	会員名簿発行資金	職員厚生資金	合 計
収入-支出=(1)-(2)	1,947,632	1,425,817	3,373,449

特別会計残高 3,373,449円

4. 財産目録

流動資産	334,871,070円
(ア) 基本金相当額	315,054,088円
(イ) 一般会計	16,443,533円
(ウ) 特別会計	3,373,449円

[別記2] 平成14年度事業計画

- 第39回通常総会・理事会開催(5月25日, 於工学部)
- 同窓会組織強化, 活性化(新役員体制, 部会・支部・職域組織・活動の見直し)及び同窓会財務体質等健全化策(事業活動と資金, 資産の保全)
- 同窓会活動とそのPR活動の充実(ホームページの充実他)
- 次期会員名簿発行事業について検討(構成, 発行形態等)
- 農工通信69号(7月1日)70号(12月1日)の発行, 全会員に配布
- 部会・支部組織の強化, 援助の継続実施(部会・支部総会等への常務理事派遣, 部会・支部名簿, ラベル打ち出し送付)
- 八王子分取林に関する平成17年契約満了時に向けての対応策
- 記念会館の完成とその利用及び次期拡張計画と同窓会による協力
- 会員動静整理定常作業の継続実施
- 財団法人東京農工大学後援会への協力
- 母校行事に対する援助, 文化祭, 新入正会員歓迎行事援助の継続実施
- 会員の慶弔に祝電または弔電を打電

新たに「電気電子工学部会」の誕生

14年度から従来の電気工学部会, 電子工学部会は「電気電子工学部会」に統合との要請があり, 14年度第2回常務理事会において確認された。

[別記3] 平成14年度予算

(平成14年4月1日~15年3月31日)

1. 基本金予算

(1) 収入 (単位:円)

款 項 目	(A) 14年度	(B) 13年度	(A)-(B) 増 減	備 考
前年度繰越金	329,829,520	327,264,520	2,565,000	
終身会費	2,529,000	2,515,000	14,000	延84名(分納を含む)
賛助会費	16,032,000	9,045,000	6,987,000	延534名
合計	348,390,520	338,824,520	9,566,000	

(2) 支出 (単位:円)

特別会計繰出	7,000,000	7,000,000	0	会員名簿発行
一般会計繰出	9,456,000	8,656,000	800,000	終身/賛助会費の10%
	4,500,000	3,500,000	1,000,000	基本金より特別繰出4,500千円
合計	20,956,000	19,156,000	1,800,000	

(3) 残高 (単位：円)

収入－支出	327,434,520	319,668,520	7,766,000	
-------	-------------	-------------	-----------	--

2. 一般会計予算

(1) 収入 (単位：円)

款 項 目	(A) 14 年 度	(B) 13 年 度	(A)-(B) 増 減	備 考
前年度繰越金	1,668,101	1,921,922	-253,821	
入 会 金	3,654,000	2,997,000	657,000	730名
年 会 費	1,927,000	2,692,000	-765,000	延1,284名
10年前納会費	780,000	1,110,000	-330,000	52名
利 子	2,111,000	2,125,000	-14,000	
基本金より繰入	13,956,000	12,130,000	1,826,000	
そ の 他	20,000	1,830,000	-1,810,000	
合 計 D	24,116,101	24,805,922	-689,821	

(2) 支出 (単位：円)

款 項 目	(A) 14 年 度	(B) 13 年 度	(A)-(B) 増 減	備 考
事 業 費	12,200,000	11,948,000	252,000	
内				
会員名簿発行準備費	1,420,000	0	1,420,000	
会員名簿作成費	0	1,345,000	-1,345,000	
会 報 発 行 費	8,020,000	7,590,000	430,000	7月, 12月
新入正会員歓迎費	855,000	855,000	0	卒業, 修了証 書入れ
母 校 行 事 援 助 費	380,000	380,000	0	学園祭, スポ ーツ大会
分 取 林 管 理 費	310,000	350,000	-40,000	森林保険
資 料 整 備 費	300,000	550,000	-250,000	
活 動 費	915,000	878,000	37,000	
会 議 費	369,000	550,000	-181,000	通常総会, 懇 親会
事 務 費	9,567,148	9,881,000	-313,852	
内				
手 当	2,196,750	2,182,000	14,750	
雑 給	2,826,446	2,833,000	-6,554	
備 品 費	250,000	450,000	-200,000	
消 耗 品 費	965,000	870,000	95,000	
通 信 費	582,000	550,000	32,000	合格者, 父 母, 連絡
旅 費	2,124,952	2,100,000	24,952	総会代議員, 支部総会
事 務 用 品 印 刷 費	75,000	200,000	-125,000	
慶 弔 費	32,000	116,000	-84,000	
借 室・光熱水費	370,000	440,000	-70,000	同窓会室
雑 費	145,000	140,000	5,000	
支 部・部 会 還 元 金	810,000	1,092,000	-282,000	
職 員 厚 生 積 立 金	100,000	100,000	0	
そ の 他	140,000	180,000	-40,000	
予 備 費	929,953	1,054,922	-124,969	
支 出 合 計 E	24,116,101	24,805,922	-689,821	
次 期 繰 越 額 D - E	0	0	0	

3. 特別会計予算

(1) 収入 (単位：円)

款 項 目	(A) 会員名簿発行資金	(B) 職員厚生資金	合 計
前年度繰越金	1,947,632	1,425,817	3,373,449
繰 入 金	7,000,000	100,000	7,100,000
利 息	1,500	500	2,000
合 計	8,949,132	1,526,317	10,475,449

(2) 支出 (単位：円)

款 項 目	会員名簿発行資金	職員厚生資金	合 計
支 出 合 計	0	1,400,000	1,400,000

(3) 特別会計残高 (単位：円)

款 項 目	会員名簿発行資金	職員厚生資金	合 計
収入－支出=(1)-(2)	8,949,132	126,317	9,075,449

特別合計残高計 9,075,449円

[別記4]会長、副会長及び役員等体制

会 長 西尾邑次(農 17)(平成13,14年度)

副 会 長 (平成13,14年度, 現在18部会, 16名)

畑中 孝晴(農 31) 齋藤 誠(養蚕32)
 安藤 哲(植防47) 多田 全宏(農化43)
 澤渡 弘幸(林 33) 星野 義延(環保53)
 荒井 宏(林 35) 小川 益男(獣医33)
 田内 堯(農工35) 高井 英雄(織工31)
 勝野 盛夫(製糸28) 渡辺 秀夫(織化33)
 町山 紀郎(工化39) 水野 隆志(応物46)
 小谷野雄次(機械38) 岩澤 京子(数情56)

新常務理事体制 (平成14,15年度)

理 事 長 小原 嘉明(農 39)
 副 理 事 長 澤田 孚夫(機械40)
 総 務 部 長 高橋 幸資(農化45)
 副 部 長 加藤 誠(農工44) 支部担当
 副 部 長 大谷 幸利(機化47) 会務担当
 副 部 長 渡邊 敏行(材料61) 総会担当
 経 理 部 長 淵野雄二郎(農 43)
 副 部 長 桑原 俊彦(生機57) 経理担当
 事 業 部 長 頼 頼 明 伯(工化47)
 副 部 長 岡 山 隆 之(林産49) 企画担当
 副 部 長 堀 三 計(機械52) 企画担当
 副 部 長 寺 岡 徹(植防50) 情報担当
 副 部 長 生 原 喜 久 雄(林 41) 分取林担当
 副 部 長 久 保 隆 文(林産43) 分取林, 施設担当
 広 報 部 長 亀 山 秀 雄(化工48)
 副 部 長 滝 山 博 志(工化62) HP 担当
 副 部 長 渡 辺 元(獣医54) HP 担当
 副 部 長 横 山 正(農 53) 会報担当
 副 部 長 竹 山 春 子(環保59) 会報担当
 事 務 局 長 瀬 木 秀 保(製糸31) 事務局

監 事 佐々木清文(製糸17)
 井上 完二(農 23)
 小此木エツ子(教婦24)

部会・支部だより

◎愛媛県支部総会◎

平成13年度の愛媛県支部の総会を重松正矩支部長のもと11月25日に県共済施設の道後保養所えひめで開催しました。当日は、同窓会本部から工学部亀山教授に来松頂き、最近の本学の情勢を伺って、実学の精神が今も生き続けていることに感激。3連休で各地の催し物と重なり、会員の慶事や弔事が多く15名の参加にとどまりましたが、隣村の出身で寮の先輩に卒業以来の再会を果たした人や初めて参加したところ見覚えがあって話してみると在学年次が同じだったとか、紅一点となった植防出身の田中美奈さんの参加等もあり楽しい会になりました。次回は、四国遍路の旅に出て戻りきれなかった人や伊予生糸の展示会等で出席できなかった人達の参加も期待して、より楽しい会を目指したいと思っています。なお、今年から会員の便りやお知らせ等を載せる愛媛支部報を発行して、身体の不都合で出席できない方にも紙面を通して参加いただける取り組みを考えています。

池上正彦 (蚕糸 S 52) 記

◎徳島県支部総会◎

平成13年度徳島県支部総会は秋も深まった11月10日にホテルクレメント徳島で開催されました。

支部連絡員の井上(林 S 53)より辞意の申し出があり、後任を小杉氏(林 S 63)が快く引き受けられ承認されました。

参加者は5名とやや寂しい人数でありましたが、ますますお元氣な森下氏(林 S 17.元厚生大臣)からの最近の政界の話題などで盛り上がり、あっという間の2時間でした。

毎年出席される会員の方がだんだん減少していくなかで、事務局も若返ったので来年こそは若い



会員の皆様が多数出席されることを願っています。数年の支部連絡員を務めさせていただきましたが、会員の皆様にはいろいろお世話になりましたがとうございました。

井上雅仁 (林 S 53) 記

◎青森県支部総会◎

初雪直前の11月10日に青森市「村山」で2年ぶりに開催しました。

参加者は18名で新人のみならず女性会員や古参会員の中からも初参加があり、例年に比べ多彩な顔ぶれとなりました。

恒例の自己紹介では大学の学部変遷の歴史も紹介され、時代は工学部設立時までさかのぼりました。むしろ、出席者の大部分が最近の大学の組織を知らない状況でした。

ただ残念なことに、流行風邪等のため出席予定者のうち支部長ほか3名が急きょ欠席され、非常に残念でした。

さらに、話題は大学時代をなつかしむ思い出から会員の近況まで広がって楽しい時間を過ごし、遠方の会員が帰られたあとで中締めとなりました。出席者の全員と話すには時間が足りませんでしたので、楽しみを次回に残しておきます。



大橋統州 (農 S 54) 記

◎秋田県支部総会◎

平成13年度の秋田県支部総会は、肌寒さの増した10月28日、秋田市の「協同大町ビル」に会員20名の出席を得ておこなわれました。

冒頭、支部長として長年にわたり会をまとめてこられた佐藤巖氏(獣畜 S 24)の退任発表があり、これにともなう新支部長の選出がおこなわれました。その結果、全会一致で加藤公朗氏(林 S 30)が

選任され、また代議員についても安田惣悦氏(農S20)から黒丸卓郎氏(栽桑S20)へバトンタッチがおこなわれ、来年度からは新たな体制で会が運営されることになりました。

引き続き懇親会では、各参加者の自己紹介や近況報告に始まり、和やかな雰囲気の中には会は進行しました。校歌や寮歌が飛び出すころには皆さんすっかり打ち解け、アカペラで熱唱する大先輩の姿に一同大いに盛り上がりました。予定時間をかなりオーバーし、名残り惜しさの中に次年度の再会を約して散会となりました。



吉田育男(植防H4)記

◎応用物理部会◎

今年の応用物理部会総会は、10月27日に工学部構内で開催された。

会計報告、本年度役員改選などに引き続き、本年度学科主任の佐藤勝昭先生より、農工大の現状について、学科内の新しい取り組み、大学の統廃合などホットな話題を説明していただいた。続いて農工大TLOについて、社長の伊藤伸先生からわかりやすい講演があり、本学が民間との共同研究数において群を抜いており、出資数も他大学の例より際立ち、TLOに関する意識が高いことを示していただいた。

懇親会は会場を生協に移して行われ、和やかな雰囲気の中でさまざまな話題に花が咲いた。大学のカリキュラム、最近の学生気質に関すること、にわかに沸きあがった大学の統廃合、来年以降の同窓会の運営について、などなど。駆けつけていただいた福富先生との会話を惜しむ間もなく、やがて予定の閉会時刻を迎えた。

藤江大二郎(応物S49)記

◎静岡県支部総会◎

平成14年度静岡県支部総会は、去る2月16日(土)静岡市内で、同窓会本部より農学部地域生態システム学科教授加藤誠先生をお迎えして開催さ

れました。当日は、年一度の再会を楽しみに各界で活躍中の諸兄47名の出席を得ました。

総会は、戸塚支部会長(農S16)の挨拶ならびに平成13年度の活動報告、収支決算並びに平成14年度の支部活動計画が原案通りに承認されました。続いて、林学科S34卒の谷澤忠良さんによる「わかりやすい環境問題」という演題で講演会を行いました。最近殊に話題となっている様々な環境問題を、わかりやすくご講演いただき、活発な質疑応答もあって大変好評でした。

総会後の懇親会は尽きぬ話で大いに盛り上がり、次年度での再会を約束し、盛会のうちに幕を閉じました。



丸山 淳(林H2)記

◎富山県支部総会◎

平成13年度の富山県支部総会は2月16日(土)に富山市の五万石本店にて、会員16名の参加により盛大に開催されました。

総会では加茂正二支部長のあいさつ、13年度会計報告等が行われ、引き続き懇親会となりました。

懇親会では、泉浩先輩の乾杯に始まり、富山の産んだ大先輩であり偉大な植物研究者であった加茂善治氏の思い出話、出席会員の近況報告を兼ねたこの一年間の自慢話や苦労話、第2第3の人生を穏やかに過ごしている様子などに華が咲き、それぞれに楽しいひとときを過ごしました。

最後に内山晃先輩の万歳で愛する農工大と会の発展を祈念し、再会を約して散会となり、夜の街へとそれぞれ時(歳?)を忘れて繰り出したのだい



です。

* 県支部の皆さま、来年度はより多くの参加をお待ちしておりますので、平成15年2月15日(土)の日には予定を入れられないよう心からお願いいたします。

石黒哲也(植防S56)記

◎福井県支部総会◎

平成13年度福井県支部総会は、3月9日(土)福井市内において、19名の会員により開催されました。今回は、宿泊なしの総会のためか前回よりやや多い会員の参加を得ました。

総会は、島田支部長(林S38)の挨拶のあと、議事に入り会計報告や会員の近況報告・CDで大学の様子を見、総会を終了しました。

総会終了後の懇親会は、最年長の谷先輩(林S16)の乾杯で始まり、大いに盛り上がり、農工大学校歌を歌う頃には懇親会の予定時間を大幅に越えていました。

最後に、次回の総会での再会を約束し、吉田前支部長(生物S22)による一本締めで盛会のうちに幕を閉じました。



野坂雄二(農工S53)記

◎宮城県支部総会◎

平成13年7月14日(土)に仙台市青葉区内の勾当台会館において、支部会員27名の出席を得て平成13年度支部総会が開催されました。

早坂和夫支部長(農工S39)の開会あいさつ後議事に入りましたが、今年度は役員改選が行われ、新支部長には内山健史氏(林S45)が、新副支部長には真木伸治氏(養蚕S48)が全会一致により承認されました。

議事後、恒例となっているミニ講演が開催され、本部来賓の農学部小原嘉明教授に「雄・雌産み分けの話」と題したお話を頂戴しました。「動物の生の営み」から始まり、「ハチの産み分け」「哺乳類

の産み分け」そして最後は「人間の場合の産み分け」となり、老いも若きも非常に参考(?)になる内容で、出席者全員大変興味深く拝聴いたしました。先生のパワフルな動物行動学のお話をもっと聞きたいということで、今度は正式な講演会を開催したらどうかという案も出されました。

懇親会では、平間氏(栽桑S16)の乾杯の音頭で始まり、全員の近況報告に続き学生時代の思い出話が次々と出され、また、大学の独立法人化の流れの中で、今後の大学や研究のあり方なども話題となり、たいへん有意義な総会となりました。

平成14年度も例年どおり7月中に総会を予定しておりますので、支部会員の皆様是非参加願います。



鈴木正彦(林S57)記

◎沖縄県支部総会◎

沖縄県支部では去る1月11日メルパルク沖縄にて通算7度めに当たる支部総会を開催しました。総会には22名の新旧会員が集い、大学時代の思い出話に花を咲かせると同時に、各会員の近況報告や今年の抱負などを紹介しあいました。役員改選も同時に行われ、支部長は仲里哲次氏(養蚕S19)から、沖縄県支部設立に功績のあった島袋哲氏(獣専S27)にバトンタッチされました。新会長のもと、若い世代に魅力のある同窓会づくりをめざして、今後の活動は、実行委員会を編成して家族交流ができるようなビーチパーティー等の企画を開催する予定です。



川上光男(農S58)記

◎鳥取県支部総会◎

平成14年度鳥取支部の総会は、2月24日(日)12時00分から鳥取県ハワイ温泉ニュー高橋で、本部から高橋庶務部長のご出席をいただき開催されました。

この日は、北日本を通過した寒冷前線が東に抜けたと気象報道があったがここ山陰にあっては北からの寒気の南下が弱く、昼ころまで小雨が残り早春を感じさせる割合暖かな一日でしたが、会員の出席者の数は相変わらずで前年と同じ僅かの8名でしたが、終始和やかな雰囲気での楽しい集いをもつことができました。

高橋理事には、翌日からの入試でご多忙な中を遠路しかも交通不便な辺鄙な山陰までお出掛けいただきありがとうございます。

会員の、母校の大学改革には関心が高く情勢報告を中心に話題が展開されましたが、次回の対策に出席率の向上に全員が努力することを約して散会しました。



小林 寿 (製糸S24) 記

◎東京支部総会開催のご案内◎

平成14年度東京支部の総会を下記の通り開催しますので、東京支部代議員および有志会員のご参加をお願いいたします。

東京農工大学同窓会東京支部
支部長 細 溪 美 古
記

(1)日 時 10月19日(土)13:00~17:00

(2)場 所

- ①総 会 大学府中キャンパス(農学部第1号館1-11号室)
②懇親会 50周年記念会館(大学本部)または農学部食堂(人数による)

(3)総 会

- ①事務局報告:計画および実績 ②講話(案) 避けて通れない問題「介護」(介護保険発足2年

の現状) 講師 流山ユーアイネット理事・介護専門員 神谷 和夫

(4)懇親会 立食パーティ 15:00~

(5)会 費 5000円, 総会のみ参加の方:500円(当日集め)

(6)申込み

代議員 往復はがきの返信(出欠・委任状)
有志参加者(けやきクラブ会員その他同窓生)

* eメール, FAX, 郵送(電話を除く)

○姓名 ○卒業学科 ○卒業年次 ○住所(郵便番号) ○出席区分 総会・懇親会/総会のみ/懇親会のみ(準備の都合上, 必ずご連絡をお願いします。)

(7)申込締切 10月10日(木)

(8)申込宛先 ○eメール sawado@cst.hi-ho.jp
saibi@cs.puon.net ○FAX 03-3829-3769

○郵送 〒130-0005東京都墨田区東駒形2-18-12
サイビ国際学院内東京農工大学同窓会東京支部

(9)参加案内 ○農工通信(同窓会報)掲載

○同窓会本部ホームページ掲載○eメール配信: eメール登録会員○往復はがき: 代議員のみ

(10)問合先(申込以外)

TEL 03-3829-3766 サイビ 細溪(林学25)
03-3275-1188 澤富商事 澤渡(林学33)
03-3446-0169 テイルクタカシマ 山本賢(農工43)
047-345-3951 アスケット 山本雄(農化33)

◎農工大全 OB 碁会のお知らせ◎

毎年全国よりOBが集合、更に現職の教職員、囲碁部の学生が参加して、親睦会の輪が広がって来ました。蚕糸、繊維、農林、農工大全OBの碁会です。棋力の強弱は問いませんので奮ってご参加下さい。

1.期 日 平成14年11月17日(日)a.m. 9:30集合

2.会 場 日本棋院(市ヶ谷)3F 会費3,000円

3.連絡先 須田 浩行(農化34卒)

TEL 03-3469-6891(勤務先)

TEL 0424-88-7833(自宅)

仲谷虎之助(農化S25) 記

「昭和37年卒農芸化学科一泊クラス会」土屋 积令, 「多摩留会(獣医学科S31年卒クラス会)」平方明男, 以上2件につきましては, 紙面の都合上, 次号へ掲載させていただきます。ご了承ください。

ク ラ ス 会 だ よ り

◎昭和18年養蚕実科卒 木の实会◎

平成13年10月25日～26日に上諏訪温泉の油屋旅館で例年のクラス会を開催しました。今回は佐橋(栃木)、藤本(茨城)、生方(群馬)、伊藤(東京)、山崎(千葉)、興(長野)、加納(岐阜：夫人同伴)、鈴木(愛知)の9名が顔を会わせました。

卒業以来58年の星霜はどう見ても老人クラブの代表にピッタリでしたが、皆、元気で老後を楽しんでいるようでした。

宴会に入り、今でも歯は一本も欠けず、眼も衰えず医者にもかからない者の健康談義、一病息災を説く者、生死をさまよう大病の経験語る者など多士済々で時間の経つのも忘れませんでした。

何はともあれ21世紀に1日でも多く足跡を残そうと言うことで一致し、来年は熱海でやろうと言うことになり幹事は加納君に引きうけてもらうよう依頼して楽しい一刻を終りました。



鈴木正敏 記

◎第5回大和田研親睦会◎

この会は工学部の有機合成化学研究室で、永年に亙り多くの学生をご指導いただいた大和田悦郎名誉教授ご夫妻を囲む会として6年前の喜寿祝賀会に引き続いて毎年開催されて来た。2001年は去る9月30日(日)に池袋の東方会館で、卒論学生第1期(S29卒)の横山省三氏を筆頭に60余名が全国から集い、盛会のうちに約3時間の楽しい歓談の場を持った。ここ何年かは先生の人生訓のお言葉を短冊にしたためていただき、それにもとづくお元気な声での講話を聞くのも会の1つの楽しみになっている。大和田研は先生退官時のS58年卒が最後となって助手研究生を含め会員約160名。みんな元気ではあるが、ともすると先生と見分けのつ

かないOBも多くなってきた。2、3年後には研究室発足して50年の記念の会として、より以上の出席率での再会を約している。



永島 武(織化S35) 記

◎ポプラ会(昭和30年獣医学科卒クラス会)◎

平成13年10月16日から2泊3日で開催。前年のポプラ会は7泊8日の中国の旅で20世紀を締め括ったが、21世紀のスタートは旅行社のツアーに便乗し「神話の世界出雲、玉造・大山温泉と鳥取砂丘、松江、足立美術館」の旅に参加した。参加者は夫人同伴6名を含めて19名、旧交を暖め和気藹々の旅であった。

今回は大学入学50年、半世紀を越えたので母校訪問を計画することになった。



大石有一・石坂英夫 記

◎昭和52年林産学科卒クラス会-7318会-◎

第3回のクラス会を、前回開催時に約束したとおり、平成13年11月3日に新宿モノリス29にて開催した。第1回は平成2年、第2回は平成9年に開催したが、今年は卒業後24年目に当たる。

参加した会員は計15会員。そして、念願の恩師農工大学名誉教授、伏谷賢美先生をお招きした。

今回は、伏谷先生の退官をお祝いする会であるとともに、昨春、ほとんど同じ時期に病に倒れた

市野川、大谷内、友松3会員を偲ぶ会となった。

伏谷先生のお元気な姿、そして不断の研究魂に触れることができ、一同、在学中の緊張感を久々に味わう。また、3会員の在りし日の活躍ぶりも思い出され…ご夫人の今後のご活躍を会としても支援していきたい思いにあふれた。

今回は、3年後の11月6日に行う予定である。会員諸氏の健康と活躍を祈念して、雨の新宿の街をあとに散会した。



前田辰雄 記

◎昭和30年製糸学科卒クラス会◎

入学から50年・卒業から46年を経て古希を迎える年代に達したのを機に久しく一堂に会する機会も無かったクラス会を去る11月8日～9日に静岡県熱海市の「大月ホテル」で開催し卒業時に29名の級友も既に4名が亡くなり今回は所用あるいは病気療養中のものを除き16名が参加した。

久し振りに顔を合わせる期待感から午後4時半までの集合時間より以前に全員が集まり温泉で汗を流し乍ら再会を喜び合った。

午後6時から宴会に入り先ず今は亡き4名の級友の冥福を祈って黙禱を捧げ世話人代表の原川欣也君の開会挨拶に続き長谷川寛君の音頭で再会を祝しての乾杯の後、夫々より定年退職後は悠々自適の生活を送っているもの、あるいは何らかの仕事を生き甲斐としてまだまだ頑張っているものなど様々な近況報告があり、宴が進むにつれ綺麗どころはそっちのけで学生時代の思い出話やら仕事や家族の話に花が咲き年齢を忘れて大いに盛り上がった。

約2時間半の宴会も森正徳君の三本締めでお開きとし、その後は夫々の部屋で更に話が弾み夜の更けるのも忘れて久し振りの再会を楽しんだ。

翌日は、朝食後このまま別れるのは名残惜しいと一同揃って真鶴岬の中川一政美術館を見学し磯料理の昼食をとった後に再来年の11月中旬に全員元気で再会することを約して散会し夫々帰途につ

いた。



相原鴻太郎 記

◎晴れやかに 静岡寮歌祭◎

旧制高等学校を懐かしむ第29回静岡寮歌祭が、平成13年11月17日(土)静岡駅前ブケ東海で開かれました。

全国の旧制高等学校、大学予科等34校の総員310名の各卒業生が全寮制度時代の良き青春時代を振り返り、校章の入った破れ帽子をかぶり、腰に手拭をぶらさげ、マントをひっかけ、当時の学生姿で登場した。

校旗を高々と翻し、太鼓に合わせて、威風堂々と寮歌を歌いだすと、会場から一斉に拍手が送られた。

我が東京高等蚕糸学校は第10回目の出場であり、静岡同窓の御理解もあり農学部と共に戸塚会長を先頭に出場致しました。青春よ、いま一度とばかり、校旗を翻し、声高らかに西が原寮歌を歌いだすと、会場より拍手が沸き上がりました。充実した一日でした。

昨年は校章入りの三校連名の、のぼり旗が立派に出来、本年も同窓の皆様の暖かい寄付により校章入りの三校の小型手ふり旗が立派に出来ました。これで全ての道具が揃いました。

同窓会の皆様、静岡の寮歌祭に出場してみませんか。本年は東京よりS25年卒の新井彦一君が出場されました。



山田 隆 (織化S22) 記

◎昭和29年農芸化学科卒クラス会◎

平成13年11月6日～7日に群馬県の川原湯温泉「山木館」でクラス会を開いた。

吾妻溪谷上流にあるこの旅館は、卒業を目前にした昭和29年春に皆で初めて訪れ、また17年前にもクラス会を催したわれわれにはゆかりの宿である。ダム建設の暁には湖底に沈むとされている当地は、紅葉に彩られ、夜には間近にムササビも現れ歓迎してくれた。

宿に到着し、お互いに「よう」「やあ」の挨拶とともに時計はすぐ5年、10年いや40年、50年と逆戻りする。夜の宴会も酒量はやや落ちた？が、雰囲気は昔と変わらず、つもる話に花が咲き時が流れていった。最後に3年後の卒業50周年記念のクラス会は、遠く九州で開催することに決まり納得、笑顔でお開きとなった。

久しぶりの会合に、各地から諸氏が集まり盛会であった。



佐藤 匡 記

◎昭和25年卒養蚕学科クラス会◎

卒業以来数年置きに開催していた我がクラス会も、大方の会員が定年を迎えた10数年前より隔年に行ってきた。今回は愛知県在住者が幹事となり、平成13年11月5日に、蒲郡市の三谷温泉で開催した。歳には勝てず、直前になって体調を崩し、欠席した者が出たため、9名の出席であったが、卒業以来初めての出席者もあり、昔を懐かしみ、近



況を語り合い、有意義な数時間を過ごすことができた。また、直前に「暮らしの手帖」に、現在皇居の紅葉山御養蚕所に奉仕している佐藤好祐氏の記事が出たことから、美智子皇后にまつわるエピソードにも花が咲いた。翌日は「貝の博物館」を見学して解散した。今回は埼玉県での開催が決まった。現在生存者24名、物故者7名である。

真野保久 記

◎昭和12年養蚕学科卒五十鈴会◎

我々33名は養蚕学科第50回生として卒業し五十鈴会と称した。爾来戦中戦後を経て幾多の苦楽を経験し7人が戦死した。謹みて哀悼の意を表したい。

昭和32年卒業20年を記念し箱根にて総会を開く。その後毎年総会を開いてきた。ここまで継続出来たのは、

1. 会を維持発展さすリーダーが東京又は近郊に在住していた
2. 全員が健康で社会に貢献し近況報告、家族写真交換等友情を温続出来た
3. 毎年持ち廻りで地元出身者が幹事となり総会を開いた

この間個人の私的調査をして、7人が改姓し3月6日生れが4名在席判明。

今や紅顔の美少年も80才を越す老人となり集会不能となった為名誉ある解散を決議した。同窓会—農工通信に厚く御礼を申し上げ更なる発展を祈る次第である。

杉田賢太郎 記

◎昭和38年繊維工学科卒クラス会◎

最近では、ほぼ1年半毎に東京で日帰りのクラス会を開催していましたが、前回のクラス会で初めて関西地区で一泊するクラス会を開こうということになりました。関西在住の2名が幹事役を買ってでて、思い出に残るクラス会にして欲しいという要望を考慮しながら、京都とかU S J等の案の中から、最終的に2月に「日本三景の一つである天橋立の温泉でカニ尽くし」に決定しました。

東京から結構遠いこととまだ半数近くが現役で仕事をしているので、参加者数も心配しましたが2月16日(土)、17日(日)に日程を設定したところ20名も参加してくれることになり幹事もほっとした次第です。

当日は裏日本ではこの季節には珍しい程の暖か

い快晴に恵まれ、天橋立の松林の散策、笠松公園から雪景色の天橋立の股覗き等を楽しんだ後に温泉で旅の汗を流しました。旅館でのカニ尽くしが東京の人には珍しくカニのさしみ、カニすき等の新鮮なカニが本当に美味で大好評でした。泊まりなので時間もたっぷりあり、久しぶりに旧交を暖める事が出来、殆どの人が初めての噂に聞く日本三景の一つで、大満足で本当に楽しい思い出に残るクラス会になりました。



大沼紀幸 記

◎昭和17年 9 月農学科卒クラス会◎

昭和53年から毎年開いてきた第26回クラス会は、5月12日岐阜県高山市で開き、母校の同窓会長西尾邑次君(元鳥取県知事)等9名が出席した。

会では先ず西尾君が母校の現状について明快に説明した後、出席者が近況を報告した。級友の大半は今年傘寿(80歳)を迎えるが、お互いに健康の維持を誓い合った。

次いで会の常任理事の私が、今春鹿児島県鹿屋市の海上自衛隊航空基地所管の資料館を見学した際、昭和20年6月沖縄方面で海軍特攻隊として散華した級友石塚隆三君(少尉)の遺影と記録を発見したことを報告し、会は専ら彼を偲ぶ話題が中心になった。

卒業時43名だった級友は、戦(病)死者を含め24名が他界し、現在19名である。

翌日は高山市内の朝市、屋台会館、高山陣屋、古い町並などを観光し、昼食後解散した。新緑に映える高山だった。



石田 真 記

◎昭和24年製糸科卒クラス会◎

恒例の首都圏在住有志によるクラス会は、色々な事情で昨年は見送られましたが、今年は日帰りの会でしたが、4月3日に都内の神代植物公園の花見を兼ねて開催しました。郡山からも参加があり11名が顔を合わせました。

桜の花は異常気象のため盛りはやや過ぎていたものの、桃や野花など新緑との競演は見事なもので、心身共にリフレッシュすることができました。

懇親会では、亡き友への献盃に始まり、お互いの近況や、酒との上手な付き合い方を始め、夫々の健康管理法などを語るうち、話題は何時しか昔の学生時代のことに移り、誰もが苦しかったあの頃の日常生活や、楽しかったサッカー部の対外遠征等々思い出話に花が咲き、時の経つのも忘れて楽しい一時を過ごしました。これからもお互いの健康と、全国各地の級友に、機会を得て再会できますことを願いつつ解散しました。



阪東 孝 記

慶 事

13. 4 月 新山 勲 (農工32)勲四等旭日小授章
 13.11月 田中金太郎 (獣医24)勲五等瑞宝章
 13.11月 岩瀬 眞治 (養蚕36)黄綬褒章
 14. 4 月 梶井 功 (名誉顧問, 前学長)勲二等瑞宝章

今春本学を退官された教官

- 箱田 直紀 教授 農学部
 土器屋由紀子 教授 農学部
 東野 文男 教授 工学部
 秋山 三郎 教授 工学部
 鹿野 快男 教授 大学院生物システム応用科学研究所
 松永 稔 助手 農学部
 毛利 敏男 助手 工学部
 杉山 廣樹 助手 大学院工学研究科

掲 示 板

東京農工大学創立50周年記念会館（仮称）竣工

平成10年から12年の2年間にかけてご尽力を頂いた、母校創立50周年記念事業募金会による募金事業につきましては、本誌68号で報告されているとおりです。

収入金額総額(募金額総額)は、その後金利等の収入追加増分(15,336円)があり、46,494,393円(2,449件)となったことが、平成14年6月8日に行われた旧募金会役員会で報告されておりますのでご報告いたします。本号通常総会議事録4.5項(p.6)を参照願います。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 収入金額合計 | 46,494,393円 |
| 2. 支出金額合計 | 46,494,393円 |
| a. 東京農工大学への寄附金 | 44,291,849円 |
| b. 趣意書、礼状等印刷発送 | 2,202,544円 |

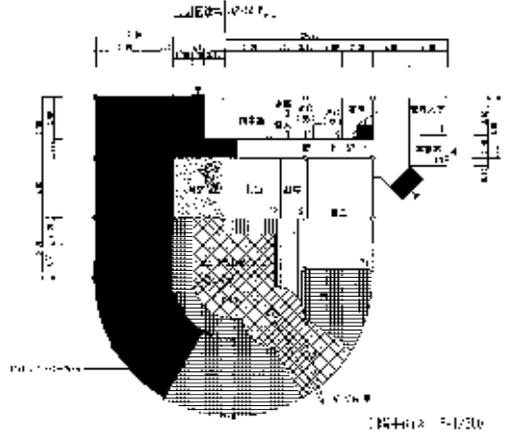
昨年の秋までに、大学により、記念会館の建設計画(既存の武蔵野荘に隣接、添付図参照)が出来上がり、平成13年11月工事を開始、本年3月15日



竣工となりました。

これはいわば記念会館の第一期工事(床面積125㎡)であり、何れ適切な時期、すなわち、第二期工事計画が明確になった時点で、同窓会による寄附事業として、従来の計画案にそって、追加部分が建設されることとなります。この場合には、同窓会による現物寄贈の可能性も検討される予定です。

この会館の多目的会議場を利用し、すでに、旧募金会の拡大役員会や、同窓会常務理事会、東京支部総会準備会等が開催され、活用されております。



創立50周年記念会館(■：第1期 一部■部分を含む、▨：第2期予定の各工事、□：既存の武蔵野荘)

平成13年度版同窓会会員名簿について

名簿編集部

平成13年11月、平成13年度版会員名簿を発行いたしました。若干の予定発送部数を残してほぼ発送を終了してきております。

今回の名簿作成につきましては、印刷過程での印刷技術上の不具合、それらの事後訂正など、完成度としましては必ずしも十分とはいえない状況

でありました。ご迷惑をおかけいたしました。

今回の名簿編集について、会員の各位から種々ご質問やご意見を頂いております。主として学科名配列に関するものそして個人情報不開示に関するもの、逆に開示等々についてのご質問、ご意見、ご要望でした。

従来の名簿氏名の配列は、同窓会部会基準による配列でありましたが、大学の規模、研究分野の拡大による学科名改称、新設が続いており、学科と部会が直接結びつかない状態となってきました。このため、名簿編集委員会では検討の結果、部会基準にかえて、卒業時の学科基準による配列とする結論となり、学科名の登録順に従った新たな配列分類となったわけです。このような場合には、その学科内容について、同一性、異質性の程度をチェックしなければなりません、具体的には極めて困難であり、学科内容の変化がなくても大学による分類上「新学科」であれば、「新学科」として配列することになったわけです。

また、当同窓会会員名簿発行とほぼ同時期に「全国大学出版会」なる出版会発行の「新名鑑 東京農工大学」（「国立大学新制50周年記念」のサブタイトルつき、B5版で当同窓会とは全く関係のない出版物）が販売され始め、紛らわしい状態がありました。同窓会という名前を使って個人情報の聴き取りや「名簿の販売」などを執拗に迫るというような例が数多く会員から寄せられております。私ども同窓会では、会員の個人情報について名簿作成と称して電話で繰り返し聴取するという

ことはありませんし、「名簿」を「販売」するようなこともありません。次回の名簿の作成は少なくとも3～4年後となります。不審な電話がありましたら、当同窓会事務局 TEL042-364-3328宛ご連絡ください。

今回は、同窓生の活動の紹介を兼ね、広告掲載頁を設けご協力をお願いいたしました。多くの方々からご賛同を頂くことができました。誌上より改めて厚くお礼申し上げます。

同窓会事務局では、会員各位の個人情報につきましては、会報「農工通信」に同封される「異動票」に基づきデータベースの厳格な管理を行っております。この票による会員ご自身による自己申告制を原則としており、可能な限り、正しいデータを把握できるようにし、一方では個人情報の漏洩を防止するよう、会員名簿の配布、取り扱いについて厳重に歯止めがなされております。

以上が、平成13年度版同窓会会員名簿編集・発行に至る経緯の概略です。

会員各位のご理解と今後の更なるご協力をお願い申し上げます。名簿編集部からのご挨拶に代えさせていただきます。

農工大ティー・エル・オー(株)の活動報告

農工大ティー・エル・オー株式会社
代表取締役社長 伊藤 伸

平成13年10月1日に設立した農工大ティー・エル・オー株式会社は、以下のような活動を積極的に推進してまいりましたのでご報告いたします。設立に際して522人の教職員や卒業生の方々に投資をいただいたばかりでなく、様々な形でご指導とご支援をいただき、順調に事業を軌道に乗せることができました。心より御礼を申し上げます。みなさまのご期待に応えられるよう今後とも精進して参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。

1. 技術移転の成約が4件

12月18日に工学部 亀山秀雄教授のアルマイト触媒に関する特許(出願中)の株式会社アルキョットへの技術移転契約が成立し、農工大 TLO にとって技術移転第1号になりました。その後も順調に進み、平成13年度の技術移転は4件となりました。

2. 政府承認は24番目

11月21日に文部科学省、経済産業省に大学等技術移転促進法(TLO法)に基づく実施計画の承認

を申請し、12月10日に承認を受けました。TLOとしては全国で24番目でした。現在の承認 TLO は27です。

3. 展示会やホームページで積極アピール

共同研究開発センターと共同で10月から2月にかけて、特許流通フェアや東京都産業流通展など6つの産業技術関連の展示会に参加しました。大型平面ディスプレイ技術やアレルギー治療薬の開発技術をアピールしました。ホームページも開設し、TLO関連のニュースなどを随時、発信。2月には英語のホームページも開設しました。<http://www.tuat-tlo.com/>

4. 会員企業は24社に

共同研究先の企業を中心に広く入会を呼びかけたうえ、卒業生のみなさまからのご紹介があり、順調に入会が進みました。当初の目標だった20社を超え、現在、会員は24社に達しています。

5. 大学発ベンチャーも支援

日本テクノマートの専門家派遣事業を活用し、

技術移転先の企業や会社設立を計画する教官など3件に公認会計士を派遣しました。財務経理や会社設立などの支援で大きな効果がありました。

6. 収支は初年度から黒字

技術移転が順調に進んだ結果、初年度(6ヶ月決算)の売上高は1000万円を超え、TLOとしては異例の初年度から黒字(税引き後)になりました。

7. 地域コンソーシアム管理法人としても活動を開始

関東経済産業局が農工大 TLO に委託する「地域新生コンソーシアム研究開発事業」が始まりました。農工大 TLO が管理法人として産学の研究

を仲介する重要な役割を果たすばかりでなく、収益にも寄与します。

8. 学内インキュベータと連携

来春に共同研究開発センターの拡張として東京農工大学小金井キャンパスに開設されるインキュベータ(企業の孵化施設)と密接な連携を取っていきます。

9. 教官の役員兼業も実現へ

東京農工大学は5人の教官についてTLO役員兼業の承認手続きを進めており、人事院の承認を受け、6月22日の株主総会で取締役として選任されました。

(財)東京農工大学後援会の活動

▼平成13年度当後援会第2回役員会・評議員会は本年3月30日、来賓として、東京農工大学松岡副学長他を招き、大学本部会議室において開催されました。会議においては、平成14年度予算案を中心として審議、討議が行われ、また、一部役員・評議員・監事の自己都合による退任による補欠選任が行われました。

平成14年度(平成14年4月～15年3月)収支予算規模、事業規模については、経済環境悪化の影響を受けて、昨年に引き続き低水準とならざるを得ない状況です。

平成14年度の大学に対する教育研究援助総額は、昨年度をやや上回る8.0百万円(報告書印刷費用を含む)を計画しておりますが、これは、平成9年当時と同様な水準に相当します。

会議では、事業額と事業内容、大学と後援会との連携等の総括的課題、後援会への個人の寄附行為と税制上の優遇措置、教育援助額規模の減少から、大学側で援助研究対象項目を絞り特化することが望ましいこと、ペイオフ解禁対策に関する後援会責任体制等について、それぞれ改善策等について論議されました。

▼平成14年度第1回役員会・評議員会は去る5月25日、工学部中央棟会議室において開催された。議事に先立ち、来賓として招待された東京農工大学宮田学長、松岡副学長他から、大学の最近の概況、今後の動向などについて略述された。

続いて後援会会長より挨拶が行われ、議事に入り、平成13年度決算報告、事業報告、決算案の審議が行われ、原案通り可決されました。

また、事業実績や今後の計画など主な課題、すなわち、収入支出と事業計画、繰越金の今後の見通し、事業区分ごとの別百分率、特定公益増進法人と寄附金の税制上の優遇、ペイオフ「解禁」対策の具体的状況・資産管理などについて、前回に引き続き論議し、対応策について協議しました。

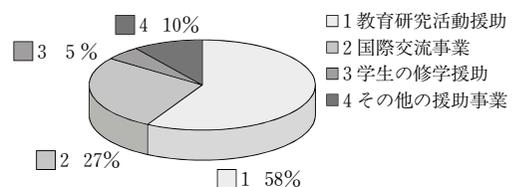
また、前回の討議に引き続き、14年度以降将来に向けての業容維持拡大のための方策について討議されました。

前回の会議時(3月)に比し、賛助会費にかなりの改善が見られましたが、改めて準会員父兄各位への加入依頼等、賛助会員の拡大に努めて行きたいと思います。

後援会事業援助活動は当財団の基金によって運営されております。この基金の源泉は卒業生、大学関係者、入学生、在学生の父母等による賛助会費と基金からの利息収入が主なものです。しかし、金融情勢は悪化の状態が続いておりますので、改めて基金の充実をはかって行かなければなりません。皆様方からのご協力をお願いいたしたく存じます。

(財)東京農工大学後援会へのお問い合わせやご連絡は、事務局 TEL042-364-3328 FAX042-335-3500へお願いいたします。

平成6～13年度 教育研究援助額 累計百分率



同窓会支部長及び支部連絡先(職域を含む)

(平成14年6月24日現在)

道府県	支部長名	連絡員名	連絡先	電話
北海道	柳澤 秀夫 (農工28)	宇野沢正美 (農工46)	自宅	011-898-3198
青森	三橋修三郎 (獣医16)	野村 昌志 (農工39)	自宅	017-738-3048
秋田	加藤 公朗 (林 30)	野村 俊悦 (農 44)	県雄勝総合農林事務所	0183-73-5180
岩手	堀田 成雄 (林 31)	深澤 光 (林 56)	県林業技術センター	019-697-1536
山形		今田 邦信 (蚕糸57)	県農業技術課	023-630-3031
宮城	山内 健史 (林 45)	鈴木 正彦 (林 57)	県都市計画課	022-211-3134
福島	小松 恭雄 (林 29)	矢島 清行(蚕糸H1)	県園芸振興課	024-521-7371
茨城	永瀬 純一 (栽桑18)	川野 和彦 (林 50)	県農林水産部林政課	029-301-4016
栃木	渡辺 寿一 (獣医25)	南木 好樹 (農工58)	県農政課	028-623-2284
群馬	大河原清一(養蚕24)	山崎 英二(環保63)	県林務部林政課	027-226-3223
埼玉	池田 勝彦 (獣医31)	橋本 栄 (環保56)	県農林部林務課	048-830-4312
千葉	庄司 健男 (製糸28)	内田 律夫 (養蚕47)	県病害虫防除所	043-291-6077
東京	細溪 美古 (林 25)	細溪 美古 (林 25)	サイビ国際総合学院	03-3829-3766
神奈川	小林 行塚 (織別30)	日下 康彦 (農工44)	県横須賀三浦地区農政事務所	0468-23-0210
新潟	布施 康正 (獣畜20)	村山 康則 (農H3)	県新潟農政事務所	025-231-8187
富山	加茂 正三 (拓殖19)	石黒 哲也 (植防56)	県農林水産部普及技術課	076-444-3278
石川		北川 康一 (農工46)	県七尾農林総合事務所	0767-52-2583
福井	島田 昭男 (林 38)	野坂 雄二 (農工53)	県農林水産部農村計画課	0776-21-1111
山梨	鶴田 栄一 (織維19)	赤池 栄夫 (蚕糸49)	県地域政策課	055-237-1111
長野	竹下 悦男 (農 34)	倉石 和典 (蚕糸61)	農政部農業技術課	026-235-7221
岐阜	麻生 迪夫 (林 38)	藤掛 雅洋 (林 62)	県中濃地域農山村整備事務所	0575-33-4011
静岡	戸塚 宏 (農 16)	丸山 淳 (林H2)	県北遠農林事務所	0539-26-2314
愛知	春日井達造 (獣医16)	瀧川 桂三 (林 41)	県豊田土木事務所	0565-35-1311
三重	吉田 譲 (獣医45)	古野 優 (獣医60)	県南勢家畜保健衛生所	0598-28-2266
大阪	奥野道太郎 (林 16)	竹中 秀夫 (製糸50)	グンゼ(株)人事開発部	06-6348-1322
京都		西村 寿 (農工50)	京都府土地改良事業団体連合会	075-451-4137
滋賀	地平 寛治 (農 32)	森井 源蔵 (農工50)	県農政水産部耕地課	077-524-1121
奈良	武田 博之(織化38)	武田 博之(織化38)	自宅	0745-72-7635
和歌山	石谷 敏夫 (農実9)	中尾 俊二 (林 53)	自宅	0738-52-0586
兵庫	松岡 克巳 (獣医18)	三宅 昭仁 (林産55)	県農林水産部治山課	078-362-3469
岡山	永井 仁 (獣畜19)	関 哲生 (獣医H7)	県農林水産部畜産課	086-226-7429
広島	貞森 昭宏 (工化39)	三宅 信行 (環保55)	自宅	082-822-4543
山口	赤木 道博 (獣医49)	岡本 賢一(植防H4)	県農試徳佐寒冷地分場	08395-6-0016
鳥取	西尾 邑次 (農17.9)	小林 寿 (製糸24)	自宅	0859-29-2644
島根	萬燈 末達 (農 16)	中尾 清治 (農工34)	自宅	0854-27-0251
香川	鳥飼 孝二 (獣医32)	河野 幸彦 (林 63)	県西部林業事務所	0877-73-2347
徳島	岡田 幸助 (林 28)	小杉純一郎 (林 63)	県林業振興課	088-621-2446
高知		寺峰 孜 (養蚕45)	高知学園短大講師	0888-40-1121
愛媛	重松 正矩 (製糸32)	池上 正彦 (蚕糸52)	県農産園芸課	089-941-2111
福岡	藤木 重喜 (拓殖18)	西田 晴二 (獣医41)	県農政部畜産課	092-643-3496
佐賀	貞松 光男 (農 34)	貞松 光男 (農 34)	自宅	0952-72-4368
長崎	本多 正二 (製糸32)	永尾 嘉孝 (農 42)	県農業技術課	095-823-1180
熊本	白石 武彦 (農工38)	猿渡 真司 (農工61)	県菊池地域振興局農林部	0968-25-4111
大分	漆間 友喜 (養蚕34)	近乘 偉夫 (農 58)	県農業技術センター水田利用部	0978-37-1141
宮崎	野上寛五郎 (林 39)	森 房光 (林 53)	県林務部山村対策室	0985-26-7157
鹿児島		遠矢 栄久 (林産50)	自宅	099-267-6946
沖縄	島袋 哲 (獣医27)	川上 光男 (農 58)	県中部農業改良普及センター	098-973-5202
横浜会	三戸森領夫 (製糸31)	花田 正樹 (製糸49)	横浜生糸問屋協会	045-211-2726
千葉共済		計良 伸行 (獣医48)	県農業共済連家畜部	043-241-2171

▼ 平成14年5月1日現在同窓会会員数

区 分	現在会員数	うち今春卒業者数
農学・生物生産学部会	2,937名	65名
蚕糸生物化学部会	2,204	—
植防疫学部会	1,143	34
農芸化学・応用生命化学部会	1,906	51
林産・生物資源工学部会	1,281	22
環境科学部会	1,270	42
林学部会	1,897	—
生産環境工学部会	1,249	—
地域生態システム学部会	345	90
獣医学部会	1,990	42
(農学関係部会)	16,222名	346名
製糸・高分子・生命工学部会	2,658名	93名
機能材料工学部会	1,934	59
化学工学部会	1,575	62
応用分子化学部会	2,854	58
機械システム工学部会	3,918	136
電気工学部会	1,796*	(119)
電子工学部会	1,377*	—
応用物理学部会	1,424	67
情報工学部会	1,141	73
(工学関係部会)	18,677名	667名
(正会員合計)	37,354名	1,013名
特別会	321名	—
準会	4,201	—
費助会	2,454	—
名譽顧問	5**	—
顧問	7**	—
(会員合計)	—	—

- 注1. 電気工学部会、電子工学部会の現在会員数の中には今春卒業者数119名は含まれない(所属部会が明らかになった時点で改めて作表する)。
 2. 今春卒業者数1,013名中には(119)名は含まれる。
 3. 大学院連合農学研究科, 大学院博士後期課程, 大学院生物システム応用科学研究科修了者は, 含まれていない。
 4. **一部同窓生を含む。

事務局だより

▼ 慶弔についてのご連絡

同窓会正会員の慶事および弔時の際には、会員の方々からのご連絡に基づき、同窓会から祝電あるいは弔電をお送りしてきております。

このような慶弔事のご連絡の際に、次のような事項についてあわせてご連絡いただければ幸甚に存じます。

- 慶事(褒賞, 叙勲等)の場合
 - 受章者, 受賞者の氏名(ふりがな), 年齢, 卒業年次, 学部および住所, 電話等。
 - 受章, 受賞の種類(褒賞, 叙勲その他の賞の種類)。
 - 受章, 受賞対象とその内容。
 - それらの授章者, 授賞者名。
 - 受章, 受賞の日時。
- 弔時の場合
 - 逝去者の氏名(ふりがな), 年齢, 卒業年次, 学部および住所, 電話等。
 - ご遺族(喪主)の氏名(逝去者との続柄)
 - 通夜の日時, 場所。
 - 告別式の日時, 場所。

▼ 不審な電話による問い合わせにご注意

以前にもご連絡申し上げましたが、東京農工大学同窓会会員名簿を作成すると称して、同窓会名簿を使用して電話をかけ、個人的な情報を聞き出したり、その名簿の購入勧誘をする事例が増加してきております。

当同窓会の会員名簿は、平成13年度版が13年11月刊行されたばかりであり、次の発行につきましては、まだ、未定であります。

従いまして、上記のような問い合わせとは一切関係ありませんのでご注意ください。

ご不審な連絡がありましたら、必ず当事務局までご連絡ください (TEL.042-364-3328)。

▼ 同窓会事務所、夏期休業のお知らせ

今年の夏期休業は、8月10日(土)～8月18日(日)までとさせていただきます。ご案内申し上げます。

編集後記

農工通信69号をお届け致します。本号では掲載しなければならない記事が多くありますので、紙面構成が多少、窮屈になりました。読みにくいかもしれませんがお許し願います。

平成14年度の事業計画にもみられますように、インターネット(HP)の重要性が増しつつあります。しかし、印刷物(本誌)の魅力にも捨て難いものがあります。今後は両者が役割を適切に分担して、広報の実が挙がるよう期待しています。

地球温暖化の影響でしょうか。季節の歩みが乱れているようです。同窓諸兄弟姉のご健勝をお祈りいたします。次号より編集担当が替わります。2年間ありがとうございました。

(蛭木 理・長谷川禎告 記)

農工通信 第69号

平成14年(2002年)7月1日

発行所 東京農工大学同窓会

連絡先 〒183-8509東京都府中市幸町3-5-8
東京農工大学同窓会事務局

<TEL 042(364)3328>

<FAX 042(335)3500>

e-mail:dosokai@cc.tuat.ac.jp

URL <http://www.tuat.ac.jp/~dousou/>

振替口座 00120-9-93147番(加入者負担)

加入者名 東京農工大学同窓会